

ひと模様



再生医療の研究者から、患者団体の活動を支援するNPO法人の代表理事へ。西川伸一さん(65)はこの春、35年間続けた研究生生活をすっぱりやめて「オール・アバウト・サイエンス・ジャパン」(神戸市)を立ち上げた。3月までは、理化学研究所の発生・再生科学総合研究センター副センター長。様々な細胞の源である幹細胞を研究する傍ら、難病患者の団体との交流を深めてきた。痛感したのは、患者と研究者、医療者をつなぐ存在が必要だということ。研究者は、病気の解明や治療につながる成果が出れば、学術誌に論文を発表

患者団体の自立を支援

する。一方、当の患者が、質が高く十分な量の情報を得る機会は少ない。そこで、「患者と専門家が一緒にいる集団をつくらう」と決意。インターネットの交流サイト(SNS)などを生かし、病気の知識や患者の症状を集め、共有するネットワークづくりに取り組む。

補助金は一切もらわないと決めている。企業や研究機関と顧問契約を結び、講演料などを運営費に充てる。「患者団体も事業体にならないとあかん」と、交流団体にも自立を求める。ただ、手助けは惜しまない。三宮駅にほど近い事務所はバリアフリー。患者らがいつでも来て、思い思いに作業できるよう、広さにこだわった。自ら資金を集めて新薬開発の研究を後押しし、医師や研究者を巻き込んでいく。そんな強力な患者団体が生まれることを、期待している。

(下司佳代子)

東日本大震災の被災者を支援するチャリティーイベント「2000人ギター弾き語り」が、10月14日、鉄人28号の巨大モニュメントがある長田区の若松公園で開かれる。

阪神大震災の時に神戸を勇気づけた曲「上を向いて歩こう」を、2千人で弾き語りすることを目指す催しで、今年3回目。神戸市垂水区の音楽事務所「神戸AMP」社長、原野史朗さん(50)が実行委員長を務める。2011年8月、「震災を忘れないように」との思いから、弾き語りイベントを10年間続けると決めた。11月に須磨海浜水族園のイルカライブ館で開

2000人ギターで勇気づけ



いた第1回には、910人が参加。5頭のイルカがジャンプする中、観客席の全員で弾いた。「今日のためにギターを買った」という人も多かった。翌年の第2回。原野さんは「去年よりも集まるだろう」と思っていたが、参加者は450人。「自分たちを含め、みんなの中で震災が風化している」と感じたという。

募金で石巻、福島、南相馬の中学校に計80本のギターを贈り、出張弾き語り授業も開いた。「押しつけがましいかな」と悩んだが、「久しぶりによく笑った」「ギターを覚えて、次は自分が元気を届けたい」と言ってもらえたことが忘れられないという。

イベントの「参加資格」は、ギターなどの弦楽器が持参できることだが、「ギターの演奏ができなくてもOK!」。東北を訪れてほしい、との思いから、今年は被災地の様子を伝えるトークライブも開く。

(石川達也)

阪神

神戸市認可
霊碑で供養する新しいお墓
神戸善光寺
永代供養、霊碑製作、彫刻費込み
一霊30万円・募集数1000名
宗門系宗派は問いません
神戸善光寺 検索
www.kobe-zenkoji.jp/
TEL 078-851-0400
神戸市灘区桜ヶ丘町1番3号

神戸総局
〒650-0035
神戸市中央区
浪花町60
☎ 078(331)4144
fax 078(331)4149
mail: kobe@asahi.com
阪神支局
〒662-0917
西宮市与古道町1-1
☎ 0798(33)5151
fax 0798(35)2070
尼崎支局
☎ 06(6419)4561
fax 06(6419)4562
宝塚支局
☎ 0797(72)2560
川西支局
☎ 072(757)9424
購読のお申し込みは
0120-33-0843
(7:00~21:00)
購読・配達のご用は
西宮 0798(33)2979
(10:00~17:00
=日・祝除く)
広告のご用は
神戸 078(335)1321
り込み広告は
阪 06(6226)1290
神戸 078(842)6380

情報こちらへ

身近なニュース
情報や話題など
題字下の電話・
ファクスや
メールでどうぞ
kobe
@asahi.com